

非核平和の集い

ナチス国家をめざす日本？
「ナチスの手口を学んだら
どうかね。」

大阪大学大学院国際公共政策研究科教員

木戸衛一氏



プロフィール きど えいいち

1957年生まれ、
1981年東京外国語大学ドイツ語学科卒、
1988年一橋大学大学院社会学研究科
単位取得退学
大阪大学大学院国際公共政策研究科教員
著書：『核開発時代の遺産』（共編著、昭和堂
2018年）、『変容するドイツ政治社会と左翼
党』（耕文社、2015年）、『平和研究入門』
（編著、大阪大学出版会、2014年）、『「対テ
ロ戦争」と現代世界』（編著、御茶の水書
房、2006年）など
翻訳：マルゴット・ケースマン、コンスタン
ティン・ヴェッカー『なぜ「平和主義」に
こだわるのか』（いのちのことば社、2016
年）など

講師メッセージ

2013年7月、改憲問題に関連して麻生副首相が述べた言葉のとおり、日本は、まさにナチスさながらに、民主主義を装って民主主義を破壊する道を歩んでいます。実際、この国の現実には、虚偽のプロパガンダとメディア統制、戦争準備、議会の翼賛化、市民的自由の統制、少数者の排除など、ナチス独裁の様相とよく似ています。安倍首相が執念を燃やす改憲発議がなされれば、戦後日本が曲がりなりにも培ってきた立憲主義・民主主義・平和主義は、もはや後戻りできない形で破壊されるでしょう。

他方、ドイツでも、格差と貧困を広げる新自由主義のグローバル化の反動として、政治文化の退行とナショナリズムへの回帰が見られます。作家の故・小田実氏の言葉を借りれば、「殺し、焼き、奪う」歴史のあと「殺され、焼かれ、奪われる」の歴史をもつ日独市民の連帯が、今こそ求められています。

2018年12月6日(木) 午後6時開場、6時半開始

大和ビル5階大会議室 (近鉄奈良駅①出口より徒歩2分)

参加費 500円

主催 非核の政府を求める奈良の会 連絡先 Tel 0742-26-2457
(奈良合同法律事務所気付)